

この説明文書はお薬とともに保管し、ご使用の際には必ずお読みください。

第②類医薬品

食べすぎ・飲みすぎ・寝冷えによる下痢に

# イノック下痢止め



## 製品の特徴

イノック下痢止めは、ロペラミド塩酸塩を有効成分とした飲みやすい小粒のカプセル剤で、食べすぎ・飲みすぎ・寝冷えによって引き起こされる下痢症状の改善に効果を発揮します。



## 使用上の注意



### してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります。)

1. 次の人は服用しないでください。  
本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人
2. 本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないでください。  
胃腸鎮痛鎮痙薬
3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください。  
(眠気等があらわれることがあります。)
4. 服用前後は飲酒しないでください。



### 相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。  
(1) 医師の治療を受けている人  
(2) 発熱を伴う下痢のある人、血便のある人又は粘液便の続く人  
(3) 急性の激しい下痢又は腹痛・腹部膨満・吐き気等の症状を伴う下痢のある人  
(本剤で無理に下痢を止めるとかえって病気を悪化させることがあります。)
- (4) 妊婦又は妊娠していると思われる人  
(5) 授乳中の人  
(6) 高齢者  
(7) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人  
(8) 食あたりあるいは水あたりによる下痢の人  
(9) 便秘を避けなければならない肛門疾患等のある人  
(本剤の服用により便秘が発現することがあります。)
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	便秘、腹部膨満感、腹部不快感、吐き気、腹痛、嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤等が持続したり、急激に悪化する。
イレウス様症状 (腸閉塞様症状)	激しい腹痛、ガス排出(おなら)の停止、嘔吐、腹部膨満感を伴う著しい便秘があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがありますので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。  
便秘
4. 2～3日間服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

## 効能・効果

- 食べすぎ・飲みすぎによる下痢
- 寝冷えによる下痢

## 用法・用量

1回下記量を水又はお湯と一緒に服用してください。  
下痢が止まれば服用しないでください。また、服用間隔は4時間以上おいてください。

年齢	1回量	1日服用回数
大人（15才以上）	2カプセル	2回
15才未満	服用させないでください	

### 〈用法・用量に関する注意〉

#### (1) カプセルの取り出し方

右図のようにカプセルの入っているPTPシートの凸部を指先で強く押し、裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用してください。（誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。）



## 成分とはたらき

成分	分量 (2カプセル中)	はたらき
ロペラミド塩酸塩	0.5mg	腸管に直接作用し、高まった腸のぜん動運動をおさえます。また、腸管での水分、電解質の分泌をおさえるとともに、吸収を高めることにより、腸内の水分のバランスを調整し、下痢の症状を改善します。

添加物として、乳糖、セルロース、ステアリン酸Mgを含有します。  
カプセル本体に、ゼラチン、ラウリル硫酸Naを含有します。

## 保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。  
(誤用の原因になったり品質が変わります。)
- (4) 使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。

### ●ワンポイント情報

下痢は、食べすぎ、寝冷えなどが原因で、腸内の水分のバランスがくずれ、便中の水分量が通常より多くなり軟便、泥状便、水様性便などが排便される状態をいいます。日頃から下痢をしないために次のことに注意しましょう。

- 食べすぎない、飲みすぎない。
- 冷たいものをとりすぎない。
- 寝冷えをしない。



## お問い合わせ先

本剤についてのお問い合わせは、お買い求めの販売店又は下記までご連絡をいただきますようお願い申し上げます。

湧永製薬株式会社 お客様相談室

☎ 0570-666-170

受付時間 9時～12時、13時～17時（土、日、祝日を除く）

製造販売元

**湧永製薬株式会社**

広島県安芸高田市甲田町下甲立1624

本社：大阪市淀川区宮原4丁目5-36

<http://www.wakunaga.co.jp/>